

# 8月の予定

2017年7月7日  
野毛山幼稚園



主 題	ゆったりと
ね が い	平和を願い、祈る。 家族や保育者とゆったりとした夏の生活を過ごす。 いろいろな人に出会い、心を通わせる。 暑い夏を健康に過ごす。

聖句 ひつようなことは ただひとつだけである。

ルカによる福音書10章42節

マルタとマリアという姉妹。二人はイエスさまのことが大好きでした。ある時、二人の住んでいる村にイエスさまが来られたので、二人はイエスさまを家に招待しました。マルタはイエスさまをもてなすために準備、マリアはイエスさまのお話を聴くためにイエスさまの足元に座っていました。一生懸命働くマルタはイエスさまに「私は一生懸命おもてなしのために働いていますが、マリアは何もしません。私の手伝いをするようにイエスさまからマリアにおっしゃってください。」と訴えました。すると、イエスさまは「マルタ、私のためにいろいろ準備をしてくれてありがとう。でも、今あなたの心はマリアのことでいっぱいになっているよ。本当に大切なことはひとつだけだよ。マリアから大切なものを取り上げてはいけませんよ」と言われました。イエスさまの言葉を聞いたマルタはハッと気がつきました。マリアのことが気になってしまい、イエスさまのことを忘れ、イエスさまのために準備をしているという嬉しい気持ちがなくなってしまっていたからです。マルタは忙しくしていたために心が掻き乱れてしまい、「主のため」が「自分のため」になってしまっていたのです。私たちが日々忙しいと心をなくしてしまいがちです。何が一番大切であるかを考え、神さまの御心に問いつつ過ごしたいと思います。

## 予 定

日	曜	予 定	備 考
30	水	緑陰保育	午前中保育
31	木	緑陰保育	午前中保育

八月や、六日、九日、十五日  
はちがつや、むいか、ここのか、じゅうごにち  
広島原爆の日 長崎原爆の日 終戦記念日

この川柳にもあるように、8月は日本にとって「平和」について考えなくてはならない時です。世界ではテロや紛争が今なお続き、また、ミサイルの問題など緊迫した不安日々が続いています。日本国内においても心配な動きもあります。

真の平和はいつ実現するのでしょうか。私たちは本当に小さなものですが、あきらめず、希望をもって、私たちのできることをしていきましょう。

戦後72年。戦争のために苦しんだ人たち、また、今なお苦しんでいる人たちがたくさんいることを知り、おとなも子どもも戦争の悲惨さにふれる機会を大切にしたいと思います。

- ◇「平和」ってなんだろう…  
それぞれの年齢に応じて考え、具体的にどうしたらよいか、身近なことで考える機会を持ちましょう。  
仲良くする お友だちのことを考える  
嫌な気持ちになることを言ったり、やったりしない…等
- ◇神さまからいただいた「いのち」を大切に思う

シャローム…イスラエルの国の挨拶のことばです。ヘブライ語で「平和」を意味しますが、単に争いのないことではなく、力と生命に溢れた状態でもあります。「シャローム」は「平和」という意味の他、「平安」「平穩」などの意味もあります。わたしたちの社会全体が、イエスさまの注いでくださる愛と平安の中に生きるものとなりたいと思います。

シャローム！



年 長 (つくし組)	年 中 (あやめ組)	年 少 (さくら組)
規則正しい生活をおくる。 自分でできるお手伝いを続ける。 お祈りの生活をする。 食前のお祈り 一日の終わりの祈り… 公共のマナーを守って過ごす。 さまざまな経験を通して感性豊かな生活をおくる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。 園生活のリズムを取り戻す。	規則正しい生活をおくる。 自分でできるお手伝いを続ける。 お祈りの生活をする。 食前のお祈り 一日の終わりの祈り… 公共のマナーを守って過ごす。 さまざまな経験を通して感性豊かな生活をおくる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。 園生活のリズムを取り戻す。	規則正しい生活をおくる。 できることは自分でするようにする。 食事の前にお祈りをする。 公共でのマナーを知って守る。 はじめてのこともやってみる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。 園生活のリズムを取り戻す。

## 読んでみよう 考えてみよう

子どもたちと「平和」を考え、分かち合うために、絵本を読んでみませんか？  
戦争に関する本はたくさん出ていますが、今、わたしたちの中にある問題を考えていくのはどうしたらいいのでしょうか。  
平和の本は選ぶのがとても難しいです。まず、お母さんが読んで感じて、難しい言葉は直して読んだり話したりしてください。  
(貸出希望の場合は、事務所まで)

